

(令和2年度)
学校自己評価書

園番号
621

園名
奈良市立鳥見幼稚園

621奈良市立鳥見幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教 育 活 動 に 関 す る も の	(1) 教育目標・教育計画	① 教育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な教育目標を設定する。 教育計画・教育目標を全職員で構成する。 学校評議員や保護者アンケートから教育活動を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に教育方針や教育ビジョンをうちだし、教育目標を達成する為の基本方針を全職員で話し合いました。また、日々の保育や研修等において共通理解を図ってきました。 適宜、職員間で評価を行ったり、学校評議員や保護者からの意見を聞きながら、課題について共通理解をしました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 日々の保育とのつながりを検討し改善を行いました。 幼小連携や地域の人材活用の観点から、内容の検討や実現方法を見直しました。 学校評議員委員会や保護者アンケートを実施し、今後に向けて具体的に話し合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、幼児の心が動くような保育内容の工夫を行います。 今後も職員間で保育の内容・環境構成などにおいて定期的に話し合うようにします。
		② 教育計画の作成			B		
		③ 教育課程の編成			B		
		④ 教育活動の評価			B		
	(2) 教育内容・保育指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 毎月学年ごとに、到達目標と具体的な指導内容を立案する。 子どもの心が動くよう、環境構成や援助を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月学年ごとに、到達目標と具体的な指導内容を立案しました。 園内研修や公開保育研修などに参加し、具体的な改善方法を探るようにしました。 職員が、幼児の心の動きに今まで以上に敏感になりました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 研修会で学んだことを取り入れて実践したり、教師間で指導方法について話し合い、改善に努めるようにしました。 保育後の記録の活用や評価について、検討の余地があると考えます。 職員間の日々の会話の中で、保育を振り返ったり、互いを感じたことを気軽に話合ったりするようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児が自ら考え行動できるようにするため、保育の工夫は検討改善の必要がある。今後も研修を活かしたり、幼児と共に遊ぶ遊ぶ中から気づいたりしたことを話し合っていく。 次の計画や保育内容に反映できる保育記録の取り方や評価につなげていく。
		② 保育内容の精選			B		
		③ 指導方法の工夫改善			A		
		④ 評価			B		
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上と幼小連携を中心にした内容の立案やねらいの共通理解・計画・実施・評価・改善を図る。 地域の方との交流を大切にし、幼児のコミュニケーション力向上や自己有能感を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方との交流を計画的に行いました。幼児はその中で積極的に関わろうとしたり、相手に受け入れられる喜びを感じたりする経験をすることができたと考えます。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域や園のボランティアの方との交流を感染対策を実施しながら、できる活動を行う事で、地域の方に親しみをもち、関わろうとする幼児が増えました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方に開かれた園づくりができるよう行事の発信などの工夫をしていきたいと思っています。 日々の遊びが保証されるよう、内容・回数・日程の精選を行っていききたいと思っています。
		② 行事内容の精選			B		
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の発達に合わせた指導を工夫する。 各種研修会に参加し、指導や保育について教師の力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「友達を知る」「ルールを守る」「いやな思いをさせない」などの大切さを生活の場面で具体的に話し合い、気づけるようにしてきました。 日常保育の具体的な場面を取り上げ、人権の意識や指導法について職員間で相互に話し合う機会を多くもつようにしました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 様々な保育場面でのトラブル等を取り上げ、幼児の発達に合わせた話し合いを積み重ねていくようにしています。 職員間で学んだことを伝え合い、具体的な取り組みや保育内容の創造に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も教師の力量を高め、保育の中での気づきができるようにすると共に、幼児の発達や場面に合わせた指導内容の工夫が必要であると思います。 保護者の関りの影響も大きい為、保護者への啓発も行っていきたいと思ます。
		② 保育内容の精選			B		
		③ 指導方法の工夫改善			B		
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で共通理解して進める。 保護者との連携を密にし、家庭背景や幼児の変化などに気づける体制をとる。 専門機関や小学校との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 気になる事象を担任一人では対応せず、園全体の問題として取り組むようにしています。 保護者が相談しやすい関係づくりに努め、職員共通りのもと幼児の指導にあたるようにしています。 兄弟関係のある家庭については小学校とも連携を密にとるようにしています。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 幼児だけでなく家庭や保護者の様子の変化に気づけるよう、関係づくりを行うようにしました。 様々な事象や保護者の要望に柔軟に対応できる保育者の力量向上に努めるようにしています。 初めての集団生活において保護者が心配していることを踏まえ、こまめな声掛けを行い、保護者との信頼関係を模索することが大切であると考えます。 対処法について、職員間での共通理解の方法を工夫する。 幼児の実態やクラスの雰囲気を感じ取れることができる保育者の力量を高める 互いの学年の様子を話し合えるよう、引き続き取り組む。 共に考えていく姿勢で保護者との話し合いや対応を行う。 今後も迅速な対応に向け、職員間で話し合う。 	
		② 教育相談・幼児理解			A		
		③ 家庭との連携			A		
		④ 関係諸機関との連携			A		
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・対処方針や指導計画が明確である	・友達とのかかわり方について保育計画の中に位置づけ善悪の判断ができるように取り組んでいます	B		
			・日頃より実態把握・早期発見に努めている	・職員全体で幼児の友達関係や仲間関係を捉え、早期発見に努めています	B		
			・各学級の状況を園組織として共有できている	・クラスの実態を出し合い、園全体で相談に対応していけるようにしています	A		
			・保護者や地域と連携できている	・保護者との話し合いを大切にし、園と家庭との姿を互いに話し合うようにしています。	B		
	・組織的に迅速に対応する体制が整備されている	・職員全体で、状況や事実確認を行い、適切な対応に努めています。	A				
	(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の幼児の発達の様子を職員全員で共通理解している。 幼児の実態把握に努め、個々に応じた指導法の検討や研修をしている。 家庭や関係機関との連携ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感覚統合の専門家を講師として招聘し、職員研修を行いました。 個々の幼児に対して、どの職員も共通の方針で支援を行うようにしています。 発達センターや療育機関との連携を図り、保護者とも共通理解をしながら援助の手立てを探るようになっています。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の発達に合わせたねらいを立て、支援の方法や教材を工夫して取り組みました。 個人懇談会等を利用し、一人一人の良さや特性について話し合い理解を深めるようにしました。 保護者の悩みや園での幼児の実態を踏まえ、専門機関との連携が取れるようにしました。 	
② 個々に応じた特別支援教育の内容		B					
③ 指導方法の工夫改善		A					
④ 家庭との連携		A					
⑤ 関係機関との連携		A					

(令和2年度)
学校自己評価書

園番号	園名
621	奈良市立鳥見幼稚園

621奈良市立鳥見幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	・園長の指導のもと、教育目標や方針を共通理解している。 ・職員間が連携し、互いに話し合いながら園運営を進めている。	・園長のビジョンに基づき、必要に応じて適切なアドバイスや指導のもと職員が連携しながら取り組むようになっています。 ・職員間での話し合いの機会を多くもち、気づいたことを話し合える関係づくりをしています。	A	・職員が互いの特性を活かしながら連携して園運営に取り組んでいます。 ・保育上の悩みや課題を相談し合うことができました。	・専任園長となり、園の様子や職員の様子がよく分かるようになりました。園運営がスムーズに行えるように、職員間の連携を密にすることが大切であると考えます。 ・職員一人一人の特性を活かした公務分掌や配置をさらに進めたいと思います。
		② 園経営目標・方針					
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識					
		④ 園務分掌等の連携					
		⑤ 会議の運営と位置づけ					
		⑥ 会議の結果					
		⑦ 職場の人間関係					
		⑧ 園評価の実施					
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	・園内・園外共に研修の機会を積極的にもつ。 ・職員間で研修の内容を伝達しあう。	・園の研究主題に基づいた研修を中心に、一人一人が主体的に参加しました。また、園内研修の場を数回もち、保育内容や幼児の発達に合わせた援助の工夫などにつながりました。	B	・多様な幼児の見取りや保育内容の創造につながりました。また実践事例について書き方や見取りが深まりました。 ・研修内容の伝達方法を、職員研修や資料の回覧など工夫しています。	・多忙な中ではあるが、研修及び研修内容の伝達・共有の時間確保に努める必要があると考えます。 ・課題意識を持ちながら、職員の資質向上に向け、系統的に進めていきたいと思います。 ・新教育保育過程を実践に活かしていけるよう、園外・園内の研修を見直していきたいと思います。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施					
		③ 園外の研修への積極的参加					
		④ 園外研修内容の報告や伝達					
		⑤ 研修成果の普及					
	(3) 安全管理	① 安全計画の立案	・園の安全管理マニュアルを作成している。 ・地域・関係機関・保護者との連携が密である。 ・幼児が緊急時の避難方法を身につけている。	・地域自主防災・女性防災などと連携しながら、幼児の安全管理指導を行いました。 ・市の安全管理マニュアルに基づいた園のマニュアルを作成しています。 ・毎月、色々な災害や不審者の避難訓練を行いました。	A	・幼小職員間での連携や協力体制整備ができています。 ・地域との連携ができています ・避難訓練を様々な種類や形態で行っています。 ・災害時の幼児の避難行動について、保護者にも知らせ、保護者が安心し、落ち着いた行動がとれるようにしています。	・引き続き、地域・小学校・関係機関との連携を密にしておき、スムーズな対応ができるようにしておきたいと思います。 ・幼児が自ら考え行動のできる力を身につけられる訓練の工夫をしています。
		② 防災計画の立案					
		③ 危機管理体制の整備					
		④ 安全指導の工夫改善					
		⑤ 家庭との連携					
		⑥ 関係機関との連携					
	(4) 保健管理	① 保健計画の立案	・保健目標を定め、幼児の健康な体づくりを進める。 ・関係機関との連携や職員研修を行っている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、幼児は、新しい生活様式を身につけている。	・食育や新型コロナウイルス感染症対策として新しい生活様式を身につけたり、健康な体をつくる為の生活の仕方などを、必要に応じて保育に取り入れました。その中で、伝えるだけでなく、幼児が自ら進んで行おうとする意欲に繋がるよう、必要性を考えられる工夫を行いました。 ・小学校養護教諭・学校薬剤師との連携を進めています。	B	・指導計画の中に、健康の内容を位置づけています。 ・小学校との連携がとれています。 ・保育室の消毒・湿度・温度の管理や換気を徹底して行いました。	・園での取り組みの啓発の方法を工夫し、保護者と共通理解しながら、園と家庭が同じ方向で進めていける工夫が必要であると考えます。 ・引き続き、小学校関係機関との連携を進めたいと思います。
		② 心のケアや健康相談の体制の整備					
③ 健康観察、健康管理能力の育成							
④ 関係機関との連携							
⑤ 昼食の衛生管理							
(5) 地域との連携	① 園情報の発信	・定期的に園の様子を配信する。 ・地域の方との交流や、近隣小学校との交流を計画的に行っている。 ・定期的に学校評議委員会を開催する。	・小学生との交流は中止となったが、施設内併設園として、小学生の様子を身近で見たり、小学校教諭との連携はとることができています。 ・幼児の安全で楽しい園生活の為に、PTAや地域協力のもと保育内容の工夫や充実等様々な改善ができたと思います。 ・定期的な学校評議委員会や幼小合同の運営委員会や保護者アンケートを実施しました。	B	・保護者アンケートや関係者評価をまとめ分析した中から評価を行いました。 ・地域コーディネーターの方を通して学校ボランティアや保護者の協力を得た保育を展開しました。 ・引き続きPTAとの話し合いを積み重ね、幼児にとってより良い連携を図っていきたく思っています。 ・地域コーディネーターとの連携を図りながら、地域の方々の力を活かした保育を展開したいと思っています。		
	② 園(保育)公開						
	③ 小学校との接続・連携						
	④ こ幼保との連携						
	⑤ PTAの活性化						
	⑥ 地域教育協議会との連携						
	⑦ 学校関係者評価の実施						
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	・施設・遊具の点検を定期的に行っている。 ・安全面に考慮した保育環境の整備や施設設備の修理等の改善を行っている。	・施設・遊具等の定期的点検や学校評議委員及び保護者アンケートに基づき、必要に応じて修理・改善をしています。	B	・必要に応じて、業務員・小学校業務員・地域の方の協力を得ながら環境整備を行いました。	・今後も定期点検を行い、施設管理を行います。 ・改修のできていない箇所についての対応を引き続き行うと共に市へ要望します。	
	② 施設設備の有効利用						
	③ 施設設備の管理						
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	・文書保存や個人情報などの管理表に基づいた管理がなされている。	・個人情報保護や情報セキュリティの資料を読み、職員一人一人の意識が高まりました。 ・職員間で互いに確認し合うことができました	A	・定期的に保管状況や管理の確認を行うようになっています。	・個人番号等個人情報のリスクやネットワークの危険性が年々上がっている事を職員一人一人が自覚し、互いに確認し合いながら進められるようにしていきたいと思っています。	
	② 公文書の作成						
	③ 個人情報の管理・保護						
	④ 情報の収集						